

まちびと輝きたる人

朝霞第一中学校 陸上競技部顧問

左から、鈴木智也先生、平野美紗子先生、岡村克之先生。
朝霞第一中学校の陸上競技部には、1年生24人、2年生25人、3年生15人の計64人の生徒が所属。4月から8月までのシーズン期には各競技に分かれた専門の練習を、残りのオフシーズンには、筋トレや体力づくりを中心に部活動を行っている。平成31年4月からは、顧問3人で部の指導に当たっている。



朝霞のまちの輝きの一翼を担う人をご紹介します。不定期連載。今回は、朝霞第一中学校へ進学した主人公の陸上部入部を予感させる『運動会小説走れ！ヒットン』（講談社）の著者をご紹介します。第三回は、モデルとなった朝霞第一中学校の、陸上競技部顧問の三人の先生にお話を伺いました。

陸上競技部の雰囲気は？

陸上は基本的には個人競技なのですが、記録会や大会では、自分の記録の良し悪しだけでなく、部の仲間の記録や結果と一緒に一喜一憂する姿が見られます。仲間がどの組に出場するかを調べて応援に行ったりと、みんな応援が、チーム一丸」という雰囲気がありますね。

去年は、男子4×100mリレーチームが、バトンの渡しとチームプレーで見事に全国大会の準決勝まで進みました。これもチーム一丸の力だと思えますし、とてもうれしく思います。

部としての目標は？

まずは県大会に出場することが目の前の目標ですが、実は昨年の全国大会での女子4×100mリレーで、2009年以来の朝霞第一中学校の記録が塗り替えられました。変わったのが大変シヨックで。今も活躍の土井杏南さんのリレーチームが打ち立てた記録で、生徒たちの誇りやよりどころでもあったので、目の前での出来事にみんな息を飲んだまま呆然としてしまいました。

ですので、この記録をまた新たに塗り替えることも、これからの大きな目標のひとつとなりました。

指導の際に心がけていることは？

記録会や大会での生徒たちの結果はそれぞれなので、一方では落ち込んでいる生徒にどのように声をかけるか悩んだり、一方では一緒に喜ぶたい思いを抑えたいところがあります。

ですが、競技場を出るころにはきちんと気持ちを切り替えて、みんな元気に笑い合っていますので、私たちが下手に励ましたりする必要はないでしょうね。



日々の練習を重ねながら
目指すは自己ベスト!!

朝霞に来て感じたことは？

陸上競技場をはじめ、わくわくどーむや野球場など、運動できる施設が充実していることに驚きました。クラブチームもとても多いですね。陸上競技場では実業団の方がすぐ隣で走っていたりして、スポーツをするうえでとても良い環境であると感じています。

顧問としての想いを聴かせてください。

みんな、とても真面目に熱心に頑張っています。頑張った分だけ結果につながっていると感じます。それは記録としての結果だけではなくて、入部した時にはほっそりしていた一年生は体つきが変わってきているし、卒業する三年生からは、高校でも陸上を続けたいと言った声も聞いています。一生懸命やってきた結果です。

そんな生徒たちの姿を、皆さんには、これからも温かく見守っていただければと思います。

取材を通し、顧問の先生方の、陸上競技に励む生徒たちへの温かな想いが伝わってきました。ありがとうございました！

★不定期連載の『まちびと輝きたる人』、今後も皆さんの情報をもとに取材を重ねていきます。どうぞお楽しみに！

▷「まちびと」募集中

まちの輝きの一翼を担ってくださっている人をぜひご紹介ください！取材を行い、広報や市ホームページ、その他SNSで紹介させていただきます。お待ちしております！！



問/シティ・プロモーション課 ☎423-3241